



西原町

まがいたま

6月議会



No. 97

2023(令和5)年
9月1日発行

今回の表紙題字
おかり学童

き = 吉田 颯さん
だ = 榎原 愛海さん

か = 玉那覇 椎南さん
よ = 新川 まりんさん

い = 崎原 大輔さん
り = 喜屋 武桃奈さん

西原町 我謝大綱引

9月定例議会 令和5年9月8日(金)開会予定



●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



伊集 悟 議員

問 令和3年コザ高パワハラ指導死の発生時、問題の早期発見、抑止力として、生徒、保護者、教員、指導者への定期アンケート実施を求めたが、
教育総務主幹 今後、学校単位で無記名の児童生徒と保護者のアンケートの実施で困り感が適切に把握できるよう学校と連携していく。

問 不適切な指導で子供が傷ついたり、苦しむことがあってはならない。教育長の見解を聞く。
教育長 言葉は人を生かしても殺しもする。校長・教頭会では重大な事案に際し、対岸の火事ではなく、他山の石として服務指導の徹底を常に求め、これまでの対処療法でなく、日常的に子供と寄り添ってほしい。

問 いじめ予防の根拠ある傍観者教育の充実を!
問 令和4年度のいじめ認知件数は。
教育部長 小学校125件、中学校34件。

問 文科省が紹介するいじめ予防に効果・根拠ある傍観者教育の動画教材などの活用を提案する。
教育総務課主幹 校内研修等のいじめ防止の取組みに、このような教材を紹介活用できるように指導、助言したい。

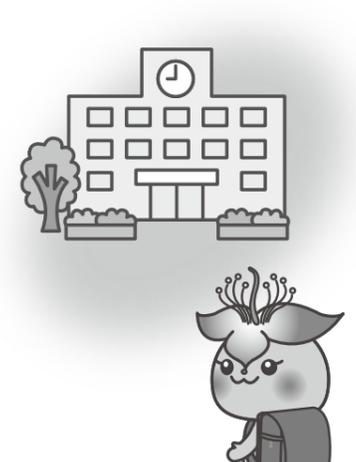
問 生徒指導提要では学校外の関係機関との連携・協働が柱。ごども家庭庁も首長部局と教育委員会の切れ目ない連携体制を求めている。いじめ問題を教育委員会や学校任せにせず、
問 取得することが可能。3つ目に健康保険証として活用。4つ目に接種証明書の電子交付を受けることが出来る。5つ目に確定申告がオンラインで可能。

問 最近、学校における生徒の事故が多発していると報道されている。
問 教育行政(学校での安全な過ごし方)について

問 取得することが可能。3つ目に健康保険証として活用。4つ目に接種証明書の電子交付を受けることが出来る。5つ目に確定申告がオンラインで可能。

町長 教育委員会とコミュニケーション・スクールを含め、活動分野を広げて、町民全体で子供を守っていくことが重要。教育委員会ともタイアップし、もつと明るい西原町の子供たちを育てる環境を作っていきたい。

- [不適切な指導と考えられ得る例]
- 大声で怒鳴る、ものを叩く・投げる等の威圧的、感情的な言動で指導する。
 - 児童生徒の言い分を聞かず、事実確認が不十分のまま思い込みで指導する。
 - 組織的な対応を全く考慮せず、独断で指導する。
 - 殊更に児童生徒の面前で叱責するなど、児童生徒の尊厳やプライバシーを損なうような指導を行う。
 - 児童生徒が著しく不安感や圧迫感を感じる場所で指導する。
 - 他の児童生徒に連帯責任を負わせることで、本人に必要以上の負担感や罪悪感を与える指導を行う。
 - 指導後に教室に一人にする、一人で帰らせる、保護者に連絡しないなど、適切なフォローを行わない。



確認する。

その他の質問
○西原町のごみ処理について最終処分場について
○西原町内でのPFAS、PFOSの実態について
○町内の公共建造物の建て替えについて
○いあんべー共生事業の今後について
○西原南小学校の生徒数の減少状態について
○ヤングケアラーについて

■マイナンバーカード活用の件

問 マイナンバーカードの活用方法について、多くのメリットがあると思うが、その説明を求めます。
総務部長 取得するメリットとしてまず、行政手続などでマイナンバーカードの提示を求められたときに、本人確認が出来、身分証明書として利用できること。次にコンビニで住民票など

の後押しを求めるため、初となる10市町村がそろっての要請行動を展開し本町からは給食費無償化の提案を行った。

■主役は町民!!まちづくり総合計画がないのは西原町だけだ!?

問 社会情勢の変化と多様化・高度化する町民ニーズを的確にとらえ我が町の継続的発展のため、町民参画の下、まちづくり総合計画の早期作成を要望する。近隣市町村は町民参画を基本とし町民とともにつくりあげた計画となっている。見解を問う。
町長 まちづくり指針を策定している。各種個別計画や実行計画を含め中期的な視点に立って作成をしており、総合計画的であらうと考えています。よってまちづくり総合計画の策定は考えて

いない。

■西地区区画整理事業の最終完成予定はなんと令和14年!?

問 事業の進捗状況・当初計画からの遅れの原因・町民からの提案や苦情等の有無や内容並びに対応について問う。また保留地処分金について問う。
建設部長 事業費ベースの進捗が令和5年3月末時点で約57%。県道浦西線について道路整備と周辺の街区、



近隣市町村の総合計画と西原町まちづくり基本条例

坂田交差点付近の工事を中心に、令和6年の一部供用開始に向け整備を進めている。沖縄振興公共投資交付金の配分が年間4億円交付されれば令和14年までに整備完了予定。事業進捗の遅れの要因としては、県からの補助金が配分されず計画的な補償や工事が執行できなかつた。引き続き県へ強く要望していく。地権者の方々からも事業が長期化していることに対し厳しい意見が多数寄せられている。早期完了を目指し鋭意努力していきたい。

都市整備課主幹 保留地処分金は令和7年頃を予定している。
その他の質問
○火葬場建設について
○大型MICE施設について
○防災対策について
○町長公用車導入に関して



中村 鉄 議員

■県内地域格差のある給食費

問 子育て世代にとっては知事の掲げる「学校給食費無償化」の公約は切実な願いであり早期実現に大きな期待が寄せられている。全額県費負担による学校給食費無償化の一刻も早い実現を求める。
町長 中部市町村会では中部振興

●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



宮里 洋史 議員

フォーラムで制服について話題になる。ただ制服は伝統的なものであり、それから素材的なものもある。そういうことも含めて、今、子どもたちだけで決める内容ではない。今後私たちが持っていきたいが学校運営協議会の力が重要になるのかと感じている。

学校制服の議論を

生徒たちが制服に対してどのような思っているのか、すく気になる。

これを皮切りに自分たちの制服や、家計への負担等、考えるいい機会になるのではと思うがどうか。

教育総務課主幹 本当にその通りだと思つ。実は子供たち、生徒会の

ごみ焼却施設・最終処分場が頓挫

事業計画は、財源を見越した上で構想から計画へと進める。見切り発車でスタートしたことが要因の一つではないか。

町長 当時は一体的に整備する意味で決定したと思う。また移転先の環境調査が発生し工期などを考え、やむを得なかったと考える。

組合側からその都度、各市町に詳細説明があったのか。

環境安全課長 令和3年8月の新炉処分会議で担当職員、町職員へ説明。令和3年9、10月に副市町会議・理事協議会を開催。各市町から懸案事項を組合へ検討を求めた。

「浮いて待て」で水難事故防止を

宜野湾市中心に行われている「浮いて待て」の取組みを知り、子どもたちだけでなく大人が知るのも、とてもよい取組みだと思つ。西原町の児童・生徒にも周知しては。

教育部長 子どもたちの命を、子ども自身が守れる力を身につけるためにも水難事故防止は非常に重要な部分



前田 真栄城 議員

補償費の件は、令和3年度に至るまで一切説明は無かったのか。

環境安全課長 令和2年度まで、本町に対して、その話は無かった。

提案 組合議会是一般質問がないのでチェック機能が果たせない。組合組織の機構改革と本町議会へ説明責任を果たすよう要望する。

ながら議員提案のあるイベントンスに基づく事業展開に関しては、今後検討したい。

西原町でも福祉祭りの開催を

町内の福祉事業所や団体等の活動を広く町民に周知を図るとともに町民の福祉への興味・関心・理解を深め、地域での重層的な支援体制を構築していく上で西原町でも福祉祭りが必要であると考え。見解を伺つ。

福祉部長 就労部会において、事業所の周知啓発を目的としたパネル展示や即売会の開催希望がある。その規模や開催方法は部会で意見交換を行っている。

コミュニティスクールの更なる発展を

町道翁長・棚原線は子供たちの送迎に使用され雨天時の送迎時間帯は渋滞となる。当路線はコミュニティ道路ではあるが近隣住民の利便性を考慮して改良は可能か？

町長 当路線は国庫補助を導入し

である。まずは命を預かる教職員向けに研修ができればと考えている。急ぎ調査を行い、町内の先生方向けに水難事故防止の研修ができるよう取組んでいく。

西原町をAIで便利に！

行政の効率化を図るためにデジタル化が言われているが、町独自のAIを導入してはどうか。町民に関しては問い合わせ内容をAIにしてもらい、職員では検索や文書・答弁のたたきまでやってもいいと思つが。

町長 今AI化で住民サービスが行き届き、業務低減にもつながるといふことで、大変いい提案を受けた。我々もまだまだその情報の部分が行き届いていないので、そのあたりはしっかりと

いよいよ、水道料金も値上げ？

料金改定案が令和6年度以降の県議会にて提案される。その場合本町の国保料金の値上げ(3回目)の時期と重なり、町民の負担は増すばかり。町の方針を聞く。

町長 多くの町民が負担感を抱いている中、経済状況や社会状況を見据えながら勘案する。

経済状況の悪化で電気料金は上がり、本町においては、下水道料金値上げ。国保料金も上がる。そして、水道料金もと、どんどん負担が増して

くる。とは言え、財政体力がない町が全負担するのも難しい話。一部負担も検討してもらいたい。

町長 やはり社会情勢等も含めて今、町民の負担がかなりあるというよ

コミュニティスクールが機能していくためには、地域コーディネーターの活動が重要であると考え

町として地域コーディネーターへのサポート体制は？

生涯学習課長 役場からの支援の必要性について意見交換している。また、随時地域コーディネーターの人材発掘支援に取組んでいる。

町道翁長・棚原線、雨天時の渋滞緩和を

町道翁長・棚原線は子供たちの送迎に使用され雨天時の送迎時間帯は渋滞となる。当路線はコミュニティ道路ではあるが近隣住民の利便性を考慮して改良は可能か？

町長 当路線は国庫補助を導入し

国、県、あるいは民間も活用し、情報収集をして、できるだけそういう方向性に持っていきたい。



その他の質問
○教員不足・負担軽減策
○全ての子育て家庭を対象とした保育の拡充
○工業団地内の下水道整備は
○小波津川草木の除去は

うな状況では、厳しいのかということもあり、それも含めて検討していく。



ているため道路構造の改良は厳しい状況である。

出口におゆずりゾーンの設置は？

町長 おゆずりゾーンは確かに効果のあるように思つ。加えて、標識やいろんな形で対応ができるか検討したい。



その他の質問
○子どもの貧困対策について

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



山手 貴勝 議員

超高齢社会、高齢者の居場所づくりの推進を

自主体操を含む高齢者の居場所づくりを推進するには、なぜ居場所が必要なのか対象を絞りモデル的な取組みを通してエビデンスを得ながら進めていくことが必要では？

福祉課長 現状の取組みを推進し



おおしろ よしひろ 議員
大城 好弘

那城橋のところまで護岸整備が完了する予定。

問 町道小波津川北線南線の工事の取組みについて問う

建設部長 北線は用地取得率100%となっており、国道への取付工事を上半期に発注、今年度内で完了。南線については、用地補償交渉を進めながら国道329号及び国道329号バイパスへの取付協議を行い、令和8年完了を目指す。

問 堤防の植栽について、観光資源として、小波津川河川の堤防の植栽について本町の基本的考えを問う

町長 観光資源として活用を図るためには、河川管理者である沖縄県、地元自治会、西原町商工会、西原町観光まちづくり協会等の意見を交えなが

ら、河川を活用した祭り、大型MICEの施設と連動した一方通行路を活用したイベントの活用、伝統芸能や地域資源を活用したまちおこしが担えるよう検討する。

問 小波津川沿線はススキ、ギンネムが生え、ジャングルになっている現状だが、県への本町の考えと対応は

町長 多くの皆さんからサワフジの木、桜の木の話が結構出ている花木を含め県との協議を進めているなか、土手の部分が当初計画より小さく植栽の範囲が狭まっている。県と調整し、観光に資する花木を対応していく。

問 ゴミ、不法投棄、河川の保全についての取組みを問う

建設部長 河川のごみ及び不法投



改修工事が進む小波津川

問 河川敷の水管理について現在の保全活動の取組みを聞く。

総務部長 法的に規制についてはその都度確認し、農業、個々の事業所については、ホームページ、広報活動も今後取組む。

■南部ごみ処理場白紙に!!

問 ごみ処分場新炉建設は、西原町、糸満市、豊見城市、南城市、八重瀬町、与那原町の6市町の処分場の一元化を進めてきており、2019年に八重瀬町具志頭地区へ建設することを決定して、2027年供用開始を目指して取組んできている。しかし、去る5月20日新聞に「南部ごみ処理場白紙に」とある。これまでに投じた経費は幾らになるのか。どこが負担するのか。

総務部長 南部広域行政組合によると、これまでの合計は8,677万7千円で、内訳は単費が6,445万9千円、交付金2,231万8千円となっている。このうち本町の負担分は1,278万6千円内訳としては、単費が950万5千円、交付金相当額が328万1千円となる。交付金の返還



おおしろ せいいち 議員
大城 誠一

が必要となった場合、交付金相当分については(南部広域)組合の財政調整基金で対応するとの説明だった。

問 新炉建設場所を改めて選定することのだがその方法は

総務部長 今後、西原町、糸満市、豊見城市、与那原町の4市町で、令和5年6月1日から令和5年8月31日まで

問 町民と行政のコミュニケーションツールとして活用できないか。

総務部長 是非、活用できる方向で検討していきたい。

問 本町の災害避難所のインターネット環境の現状はどうか

総務課長 本町の災害時避難所数は9ヶ所ありインターネットは現在利用できる環境にない。

問 今後インターネット環境を導入していく検討があるか

環境安全課長 いま一度費用対効果を含めて内部で整理していきたい。

問 日頃の活用と災害時の活用のバランスを考えながらネット環境を整えることが大事ではないか。

環境安全課長 まさにその通りで

■「5類」に移行で何が変わる?

問 新型コロナは「2類」から「5類」に移行したことにより何が変わるのか

福祉部長 マスクの着用時の感染対策は個人、事業主の判断が基本となる。また、陽性者や濃厚接触者に対しての外出の自粛要請はせず、医療費やPCR検査費用も原則自己負担となる。

問 平時の活用方法を所管課と今一度整理していきたい。

■災害に対応できる町へ

問 地域防災計画は今後を見据えた計画内容にするべきではないか。

環境安全課長 平成24年以降抜本的な修正がなされていない。次期計画は最新の防災の考え方や地域の声も拾い上げて計画に反映していきたい。

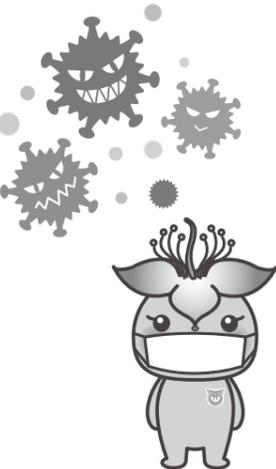
問 避難行動要支援者名簿の作成状況と本町の考え方は

福祉部長 現在、申請に基づき整備しており57名の登録がある。今後、災害対策基本法第49条の10に基づき避難行動要支援者の対象者名簿作成にむけて他の自治体の取組みを参考に改善を図っていきたい。

その他の質問
○治水事業について



東部環境美化センター(与那原町)



■児童・生徒の水難事故を防ぐために

問 児童・生徒への水難事故・事件対策として本町の取組みは

教育部長 校長会等での安全指導への依頼、長期休み等の前に注意喚起や教職員への研修等を行っている。

問 宜野湾市を中心に活動している「浮いて待て」を自治体等と連携して研修ができないか。

生涯学習課長 よい事例だと思っので自治会長を中心に自治会へ紹介していきたい。

その他の質問

- 教育・保育現場のデジタル化
- データ活用について
- 教員・保育士不足とメンタルヘルス対策
- デジタル田園都市国家構想戦略について
- パブリックコメントやアンケートについて



ぎま しゅんたろう 議員
儀間 駿太郎

■行政サービスのデジタル化!

問 現在、広報活動として公式LINE活用しているが今後機能強化を考えているか

総務課長 何が住民にとって使い勝手がいいのか研究しながら取組んでいきたい。



議員 木下 昌盛

任命。推進委員は新しい農業委員の臨時総会で選任後、農業委員会より委嘱の予定。

問 昨年12月、民生・児童委員の改選があったが、定数不足の現状をどう捉えているのか。

答 福祉部長 一斉改選の結果、定数66名に対して54名に委嘱。3年前より10名増えたが、担い手不足の深刻化を危惧。

問 坂田認定こども園が開園したが、運営に課題等はないか。次年度の南幼稚園の移行準備はどう進めていくのか。

答 総務部長 現時点で特段の課題等はない。西原南幼稚園の移行状況は、昨年度中から運営法人の選考作業を行な

い、令和5年4月3日付で運営法人の候補者の決定を終えた。

問 各自治会への行政補助金、事務委託料の算定基準と今年度の総額は。

答 総務部長 月額4万5千円の書記設置費、人口一人当たり90円の活動費、自主防災組織立上げ時3万円、継続時月額1万円で総額2,077万9千円。事務委託料は均等割7万3千円、世帯割一世帯当たり180円で総額6,177万4千円で合計8,255万3千円を計上。

問 去る5月11日の環境衛生関係市町村理事協議会で、八重瀬町へのごみ焼却施設、最終処分場建設断念がなされたが、町長の見解は。

答 メートル程度で殆どが私有地である。これまで里道部分についてはアスファルト部分に開いた穴埋めの維持管理等を行っており、砂利道というのは恐らく私有地部分だと思われる。指摘の道路周辺には住宅・商工業・あるいは保育園・教会等が立ち並び、また近隣の資材ヤード等から大型車の通行も多いが、未整備道路のため側溝もなく補修

を繰り返している状況にある。当該道路の事業化に向け調査計画を実施し、どのような事業が展開できるのかを検討して行く。それまでの間は維持補修で対応していく。

その他の質問 ○農道の新設について



幸地 1043 番地付近の旧道



から谷那堂橋に向かう私道



坂田認定こども園

町長 平成30年度から進めてきたが、断念は深く受け止めている。東部環境美化センターの施設も老朽化しており、早期に新炉建設が実現できるように進めていく。

町政全般について

問 農業委員会の農業委員11名、推進委員5名の改選の年にあたる。選任の準備は進んでいるか。

答 建設部長 5月31日まで推薦公募を行い、候補者評価委員会を開催し、その後、農業委員は9月定例会に選任議案を提出、議会の同意を得て町長より

県道29号線、町移管確認について

問 町移管に伴う具体的な計画と進捗状況について問う。

答 建設部長 旧県道の町移管については、平成20年9月に県より協議書が提出されており、同年10月に町より県に対し、主要地方道那覇北中城線の整備後に、旧県道等の管理を引き受ける



議員 山崎 良樹

事業を行うに当たっては、町内路線への優先度、適合する補助事業の有無等を基に事業の可否を検討していく。

幸地1043番地入口付近から谷那堂橋に向かう私道について

問 幸地1043番地入口付近の道路について問う。

答 町長 当該道路は、里道幅約2

ごみ処理施設・最終処分場施設建設を質す



議員 久比 屋

問 南部広域行政組合の最終処分場等を聞く。

答 町長 組合では令和元年8月に、ごみ処理施設及び最終処分場として具志頭地区に決定した。同地域にある養豚業者の66億円の移転費用の負担が困

難であり、3市3町で構成している理事協議会で具志頭地区の候補地を断念、新たな候補地を選定することになった。

焼却施設建設地の選定を聞く。

答 町長 現最終処分場がある南城市及び次期最終処分場輪番制により建設自治体の八重瀬町を除く豊見城市、糸満市、西原町、与那原町の4市町から推薦する。

東部清掃組合の建替えを聞く。

答 町長 老朽化が著しい中、新たなごみ処理施設の供用開始までの間、既存施設の延命化を図っていく。

工場誘致の現状を聞く

問 オキコ移転の進捗を聞く。

答 建設部長 令和4年12月に沖縄県建設指導課から開発許可が決定し、その後、令和5年2月中旬には農地転用許可証が交付された。今後、磁気探査、地盤改良工事、擁壁工事等が予定されている。

都市整備課長

オキコ前の道路については、開発協定書の中でオキコが建設するものとなっている。

問 オキコ移転地域の開発面積等を聞く。

答 都市整備課長 オキコが3万4,858㎡でその他1社の企業からも進出したとの相談がある。

工業地域拡大等を聞く

問 現在の小那覇工業地域の面積を聞く。

答 建設部長 158.8haで、南西石油株式会社、西原浄化センターを除く小那覇工業適地面積が昭和60年3月30日指定で78.6ha。

問 329号西原バイパス事業の進捗状況と今後の取組みを聞く。

答 建設部長 329号西原バイパス事業は、令和3年に事業着手し、令和4年11月には用地幅員の杭設置に係る説明会を実施した。今年度は、用地測量、物件調査等を進め用地交渉の予定である。

その他の質問

○コロナワクチン接種について
○自動販売機による寄付金について



あらた そうしん 新田 宗信 議員

問 地域公民館建設を支援する上で、一括交付金事業や補助事業等の導入についての見解を伺う。

考えている。

総務部長 過去に一括交付金の活用を前提とした災害時避難所施設建設が取りやめになった経緯があり、同様の施設建設を検討する場合や同様の補助事業等の導入に当たり、町民をはじめ、議会の皆様へ、必要性や整備の根拠を示す必要があると考える。

問 日本財団の「子ども第三の居場所づくり」事業の協力方について見解を伺う。

町長 運営団体が提案する事業内容や助成終了後の事業の継続等について確認を行い、自治体協力届の提出に

問 自治会の共有名義の名義変更はどのように行なわれるのか。

ついで協力していきたい。

総務部長 平成27年4月施行の地方自治法の改正により認可地縁団体が所有する不動産で一定の要件を満たす場合、所定の手続きを経ることで所有権の保存または移転の登記を可能とする特例制度が創設されている。

問 自治体DXの取組みとして母子手帳アプリの検討について。

その他の質問

- 農業委員会の役割と取組みについて。
- 学校給食の無償化について。
- 産官学連携についての見解を伺う。
- 民生委員児童委員の役割と責務について。
- 消防、防災体制等の確立について。
- 農業従事者の所得増進計画について。
- 城下町の整備計画について。
- 雇用促進についての取組みを伺う。



沖縄都市モノレール線 てだこ浦西駅

■コミュニティ・スクールにとつての子どもの権利条約・児童憲章

問 学校運営協議会が開かれたときに、委員に子どもの権利条約や児童憲章などの研修を予定しているか。

教育総務課主幹 町の第二次教育大綱を根拠として、子どもの権利条約・児童憲章は、子どもの成長を支えるコミュニティ・スクールにとって必要不可欠な法的根拠となつているので、運営協議会の委員にその内容を理解した上で取組んでいく必要があると考えているため、6月以降に開催される各校の運営協議会で周知を図っていく。



いけい ひろこ 伊計 裕子 議員

■公共工事労務単価、実態額の引き上げを！

問 国交省が出した単価表では、沖縄県は高いが、実態はずっと引き下げられ、毎價格差が広がっているとのこと。単価表に近づけるように分析が必要と思うが。

童数である。

福祉部長 令和5年5月1日現在、潜在的待機児童数は20人だが、他の児童クラブで空きが10人なので、待機児童数は10人である。

問 潜在的待機児童も含めて20人とのことだが、どんな計算なのか。

子ども課長 勤務証明書などの必要書類を添付した放課後児童クラブ入所申込書により申し込んでいる待機児童は、令和6年中の西普大間地区へ移転となる。病院の機能は令和7年1月ごろ、医学部は3月中に移転が完了する。令和4年より上原地区キャンパス跡地利用推進協議会を立ち上げ、7月の第1回会議では跡地利用計画の策定に向けた具体的な議論が始まり、第2回の協議会で、跡地利用に関する現状分析や、今後のアドバイザー委託業務に関する説明、現時点で跡地利用の具体的な計画や方針は示されていない。国立自然史博物館の沖縄設立に向けた誘致は、県が取組んでいる分について報道や沖縄振興拡大会議で報告がされ、内容は把握している。県は今年度、誘致推進事業の予算を計上し、県民機運の醸成を図っていくとのこと。この取組みが琉大上原キャンパス跡地の利用計画

土木課長 単価は11年連続上げていっているのですが、その上げることによって少しでも実際にもらうお金も上がっていくと思う。

問 公共工事を請け負った事業者、労働者がちゃんと事業が成り立ち、労働者がまともな生活ができる賃金にしていこうという意味でも、全国的に公

その他の質問

- 保育行政について
- インボイス制度について
- 南部ごみ処分場白紙撤回について



の議論と関連しているという趣旨は聞いていない、その是非について現時点で言えることはないが、研究そして情報収集に努めることは重要であると考えている。

■母子手帳アプリについて

問 自治体DXの取組みとして母子手帳アプリの検討について。

福祉部長 母子健康手帳のアプリは、複数の民間事業者が提供し、実際に子供の成長や乳幼児健診の結果、予防接種記録などをアプリ内で管理している方もいる。このアプリを町民に提供するメリットは、行政情報をプッシュ型で発信することや、健診のオンライン予約等ができる点があるが、有効性



その他の質問

- 子育て支援について
- 教育行政について
- 町民の生活向上について
- 一括交付金について
- 中央公民館周辺整備について

■琉球大学医学部附属病院跡地利用について

問 琉球大学医学部附属病院移転後、日本初の国立自然史博物館を琉大医学部跡地に誘致することについて聞く。

町長 琉球大学医学部及び附属病院を含む上原キャンパスの移転事業



ながはま ひろみ 長浜 ひろみ 議員

特集 南部ごみ処理場 白紙に!!



東部環境美化センター

南部広域行政組合は、西原町、糸満市、豊見城市、南城市、八重瀬町、与那原町の6市町のごみ処理施設の一元化を進めてきており、2019年に八重瀬町具志頭地区へ建設することを決定。2031年度供用開始を目指して取り組んでいました。ところが、去る5月11日の理事協議会で白紙撤回を決定したと翌日の新聞で報道されました。

どうして白紙になったの？

施設の整備費約400億円以外に、養豚場の移転費用66億円の見積もりが具志頭畜産から2022年7月提出され、その移転費用対象の補助メニュー項目がなく、2023年2月関係市町での単費負担は厳しいとの議論となりました。また、豚舎の移転先の環境アセスメントが必要なことも2022年8月、県の指摘で判明。環境アセスが最短でも4年半はかかることが判明しました。これらのことにより、財政的にも期間的にも厳しいと断念しました。



そもそもどういう計画だったの？

環境衛生関係市町村のコスト削減のため、最終処分場とごみ処理場の一元化計画の一環で、現在のごみ処理場である東部環境美化センターと糸豊環境美化センターを一つにした施設を造る計画です。2019年八重瀬町より、町として長年の行政課題である悪臭問題地域の「具志頭地区」にごみ処理場と最終処分場の2施設を誘致したいとの申し出があり、関係市町村理事協議会にて全会一致で決定し、2031年度供用開始を目指して進めていました。

焼却炉2カ所の延命措置が必要!!

現在稼働している東部環境美化センター(与那原町)は38年目、糸豊環境美化センター(糸満市)は25年目となります。焼却炉の耐用年数は通常30年と言われています。両施設は、これまでも修繕や基幹改良を重ねてきましたが、新炉完成までにはさらに延命措置が必要となります。このため、関係市町は整備負担金の拠出が求められます。



建設用地の選定はどうするの？

新炉は、2037年供用開始を目指しています。そのため新炉建設地を西原、糸満、豊見城、与那原の4市町において建設候補地の推薦を令和5年8月末までに行い、選定していく予定になっています。さらに、建設地の環境アセスメントについても新たに取組むこととなります。

白紙になったことによる影響が？

この事業計画にかかったこれまでの経費が合計で約8,678万円。内訳は単費が約6,446万円、交付金約2,232万円。このうち西原町の負担分は約1,279万円。内訳は単費が約951万円、交付金相当額が約328万円。交付金返還の場合は、南部広域組合の財政調整基金で対応することになっています。ただし、この経費は構成市町の税金で賄われています。



令和5年度 西原町の 一般会計 補正 予算 可決!

歳入歳出それぞれ4億6,792万8,000円を追加し、令和5年度の歳入歳出予算の総額が**135億9,792万8,000円**となっています。

主な 歳入	○国庫支出金 +1億8,737万1,000円	○県支出金 +2,444万6,000円
	○繰入金 +1億3,109万4,000円	○諸収入 +826万3,000円
	○繰越金 +1億55万8,000円	○町債 +1,620万円
主な 歳出	○議会費 +416万7,000円	○農林水産業費 +262万円
	○総務費 +403万8,000円	○商工費 ▲798万8,000円
	○民生費 +2億7,758万5,000円	○土木費 +4,535万円
	○衛生費 +2,718万8,000円	○教育費 +1億846万8,000円
	○労働費 +150万円	○予備費 +500万円

令和5年度 西原町の 特別会計 補正 予算 可決!

国保特別会計	歳入歳出それぞれ81万5,000円を追加し、総額を 46億4,269万3,000円 とする。
水道事業	収益的収入及び支出それぞれ48万3,000円を追加し、 8億4,466万7,000円 とする。 資本的収入及び支出それぞれ27万1,000円を追加し、 2億2,718万4,000円 とする。
土地区画整理事業	歳入歳出それぞれ3,599万5,000円を追加し、総額を 3億1,900万8,000円 とする。
公共下水道事業	収益的収入を192万7,000円追加し、 4億1,796万8,000円 とする。 収益的支出を192万7,000円追加し、 3億9,302万円 とする。 資本的収入を858万4,000円追加し、 7億5,627万6,000円 とする。 資本的支出を858万4,000円追加し、 8億7,630万7,000円 とする。

令和4年度 政務活動費使途一覧表

政務活動費一人当たり年度支給額 120,000円 ※2 (単位:円)

議員番号	議員名	調査研究費	研修費	広報・広聴費	要請陳情等活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	事務費	計	残余金
19	大城 純孝	84,470						29,422			113,892	6,108
1	大城 誠一							48,060			48,060	71,940
2	真栄城 哲	65,922						7,687	3,509		77,118	42,882
3	与儀 清							36,900			36,900	83,100
4	大田 實							50,060			50,060	69,940
5	山城 勝貴		40,000					15,180			55,180	64,820
6	儀間駿太郎										0	120,000
7	伊集 悟			137,328							137,328	▲17,328
8	長浜ひろみ		131,517					1,000	244		132,761	▲12,761
9	伊計 裕子		20,820					57,860			78,680	41,320
10	喜納 昌盛			79,549				19,450			98,999	21,001
11	新田 宗信		26,880	10,258				25,385	5,610		68,133	▲8,133
12	與那嶺良樹							9,225			9,225	50,775
13	新川 喜男							18,450			18,450	101,550
14	宮里 洋史	29,700		54,458	33,700						117,858	2,142
15	屋比久 満	34,539	36,825		28,691			26,700			126,755	▲6,755
16	大城 好弘							36,900			36,900	83,100
17	仲松 勤			63,750				13,073	21,000		97,823	▲37,823
18	前里 光信		54,880	34,600				46,900			136,380	▲16,380
	合計	214,631	310,922	379,943	62,391	0	0	442,252	0	30,363	1,440,502	659,498

※1 政務活動費は、議会の審議能力の強化と議員の調査研究活動基盤の充実を図るための費用です。
 ※2 令和4年度9月の議員選挙により、新たに議員となった者(新田 宗信、與那嶺 良樹、仲松 勤)の政務活動費は後期分の60,000円です。
 ※3 残余金の▲表示はマイナス額(この分は当該議員の自己負担となります)

令和5年 第3回臨時会 議案議決結果

承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(西原町税条例の一部を改正する条例)	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(西原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第31号	令和5年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決

令和5年 第4回定例会 議案議決結果

報告第2号	令和4年度西原町繰越明許費繰越計算書の報告について	報告
報告第3号	令和5年度沖繩県町村土地開発公社事業計画書の報告について	報告
報告第4号	令和4年度西原町下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告
議案第32号	令和5年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
議案第33号	令和5年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第34号	令和5年度西原町土地区画整理事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第35号	令和5年度西原町水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第36号	令和5年度西原町下水道事業会計補正予算について	原案可決
陳情第927号	西原町保育施策の拡充について(陳情)	採択
意見書第1号	知事公約である学校給食費無償化実現を早急に求める意見書	原案可決
意見書第2号	保育士配置基準の抜本的な見直しを求める意見書	原案可決
決議第1号	知事公約である学校給食費無償化実現を早急に求める要請決議	原案可決

みなさんからの陳情はこうなりました(6月定例会)

件名	提出者	採択方法及び附託委員会	結果
陳情第927号 保育施策の拡充について(陳情)	西原町保育連絡協議会	文教厚生常任委員会	採択
陳情第928号 「現物給付」への国のペナルティを直ちに全廃し18歳までこども医療費無料制度実現など こども医療費無料制度の改善を求める陳情書	沖繩県社会保障推進協議会	—	配布
陳情第929号 国に対し、適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める陳情書	インボイス制度を考えるフリーランスの会	—	配布

6月定例会

知事公約である学校給食費無償化実現を急速に求める意見書及び要請決議の結果

※意見書については全会一致で賛成でしたが、決議については賛否が分かれました。

○決議の賛否について

(決議第1号)知事公約である学校給食費無償化実現を急速に求める要請決議

反対討論の主旨 (伊計裕子議員)

憲法第26条で全ての国民は法律が定めるところにより、保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う、義務教育はこれを無償とするということ、本来であれば国が全額給食費も無償にするべきであると考えます。知事も公約で述べているように国との連携、県、市町村との連携によって学校給食費の無償化を一刻も早く実現されるよう、そのためには決議の中で全額県負担というのはそぐわないと考える。学校給食費無償化を早急に求めるために力を合わせたいと思っている。

賛成討論の主旨 (新田宗信議員)

我々は議会から県議会に要請をするにあたり、本来であれば先んじて西原町が財政的にある程度豊かであれば対応出来たかもしれないが、財政が厳しいというところで単独での無償化は今のところ実現していない。しかし生活保護をはじめとする約800名近い児童に対しては無償化を実現しており、そういう中から県に全額要請することを県議会で話し合いをし、場合によっては国が国の責任の中で全国的に無償化に持って行く政策を国会でも論じるような、また議決を県議会にもやっていただければと思う。子どもの貧困的差別をなくすという観点からも弱者の気持ちを率直に伝えるという意味からするのであれば全額県議会に求めて良いのではないかと。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	大城 誠一	真栄城 哲	与儀 清	大田 實	山城 勝貴	儀間 駿太郎	伊集 悟	長濱 ひろみ	伊計 裕子	喜納 昌盛	新田 宗信	與那嶺 良樹	新川 喜男	宮里 洋史	屋比久 満	大城 好弘	仲松 勤	前里 光信	大城 純孝
決議第1号	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

※賛成は○ 反対は× 退席は退

議員視察団受入

◆ 埼玉県本庄市議員団視察研修

令和5年7月6日、埼玉県本庄市の議会議員の行政視察があり、農水産物流通・加工・観光拠点施設「さわぶじマルシェ」について、施設概要や運営方法、今後の課題について説明しました。



議場見学

◆ 美咲区自治会議場見学

令和5年6月27日、美咲区自治会(米城智次会長)のみなさんの、議場見学訪問がありました。見学のほか議会運営等についてもご説明し、議会の大切さがわかった、より議会に関心を持ったなどのご感想をいただきました。



議会だより96号(6月1日発行)訂正とお詫び

議会だより96号(6月1日発行)に掲載している次の記事において一部内容に誤りがございました。町民のみなさま並びに関係各位にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びするとともに、訂正いたします。

訂正内容 議会だより96号 15ページの賛否一覧表に、大城純孝議長および前里光信議員を追加(下記参考)

○議案の賛否(議案第4.5.6.7.25号について)

	大城 誠一	真栄城 哲	与儀 清	大田 實	山城 勝貴	儀間 駿太郎	伊集 悟	長濱 ひろみ	伊計 裕子	喜納 昌盛	新田 宗信	與那嶺 良樹	新川 喜男	宮里 洋史	屋比久 満	大城 好弘	仲松 勤	前里 光信	大城 純孝
議案第4号	退	○	○	○	○	○	○	○	×	退	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第5号	退	○	○	○	○	○	○	○	×	退	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第6号	退	○	○	○	○	○	○	○	×	退	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第7号	退	○	○	○	○	○	○	○	×	退	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

※賛成は○ 反対は× 退席は退

○発議の賛否(発議第1号について)

	大城 誠一	真栄城 哲	与儀 清	大田 實	山城 勝貴	儀間 駿太郎	伊集 悟	長濱 ひろみ	伊計 裕子	喜納 昌盛	新田 宗信	與那嶺 良樹	新川 喜男	宮里 洋史	屋比久 満	大城 好弘	仲松 勤	前里 光信	大城 純孝
発議第1号	退	○	○	○	○	○	○	○	×	退	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

※賛成は○ 反対は× 退席は退

議会活動

◆ 火葬場建設等特別委員会

火葬場問題の解決のために設置された火葬場建設等特別委員会(前里光信委員長)の第3回会議が令和5年5月30日に開催され火葬場建設に向けた調査状況や、その仕様、また建設の諸問題について意見が交わされました。本委員会は引き続き火葬場建設に向けた研究を行ってまいります。



先進地視察研修

◆ 文教厚生常任委員会 行政視察

文教厚生常任委員会(伊集悟委員長)は7月4日から6日にかけて、少子化対応や介護給付費の軽減、子どもの不登校対策の参考として、兵庫県明石市、大阪府大東市、池田市を視察しました。明石市では子どもを核としたまちづくりと、人口増や出生率向上の取組みが税収増へつながる好循環の行政運営を行っていました。大東市では住民主体の「大東元気でまっせ体操」などに取組み、介護認定率を引き下げ、介護予防給付費の約30億円削減を実現していました。池田スマイルファクトリーでは日本初の公設民営フリースクールとして池田市の不登校の子どもたちの居場所・成長の場をつくり、教育機会確保法に準じた子どもへの寄り添いにより、将来、社会的に自立することを応援する学校・NPO法人・市教委が連携する先進かつ効果的な不登校支援の取組みを行っていました。3市の先進的な取り組みは、少子高齢化社会が加速するこれからの文教のまち・西原町のまちづくりを推進するために大変参考になりました。



▲明石市役所前の視察団一行

◆ 建設産業常任委員会 行政視察

建設産業常任委員会(宮里洋史委員長)は、7月4日から6日にかけて、森林環境譲与税の活用並びに産業観光・土地区画整理事業の参考として、山形県金山町、横浜市河和町を視察しました。金山町のきごころ橋や蔵を活用したPFI、景観条例の先進地として西原町の観光拠点と小波津川周辺整備観光振興に活用できると感じました。河和町の民間を活用した区画整理事業は、今後西原町に必要となるもので、また事業執行を円滑に進めるためのまちづくり支援制度の取組みは大変参考になりました。今後町民とともにまちづくりを考え推進していく必要があります。



▲山形県金山町のきごころ橋にて

題字制作者 今回は、あがり学童。小学校3年生、6人のみなさんです



吉田 艶さん
夏休みの中で楽しかったことは3年生みんながアイススケートに行ったことです。



玉那覇椎南さん
夏休みに初めてアイススケートに行きました。楽しかったです。



崎原大輔さん
さきはら だいすけ レジャープールで泳いで楽しかった!



棚原愛海さん
たなはら あい み 楽しかったことはアイススケートです。



新川まりんさん
あらかわ 新川まりんさん 学童でレジャープールに行ったのが楽しかったです。



喜屋武桃奈さん
きやん りりな さん 夏休みの思い出は、3年生のみんなで行ったキャンプです。

3月議会の傍聴者

延べ人数

7人

議会だよりに対するご意見、ご要望等はこちらへ

西原町議会事務局
TEL:098-945-5122

西原町議会
広報調査特別委員会 委員
与儀 清

「その神事である綱引も担い手の高齢化、減少により消えて、神も去ってしまう…。「淋しいかぎりですな。」

絶賛されていたのを思い出す。我謝の綱の特徴はカンジ小マチと称するカニチの巻き方とその大きさにある。雌綱と雄綱がギリギリで、それを棒だけで入れる。古くは30分以上かかる事もあるが、その綱同士との結合が、五穀豊穡、子孫繁栄へと繋がるのである。

8月11日(旧暦6月25日)はカシチーと言って収穫したての新しい米を先祖にそなえ、報告と感謝をする日である。そして西原町においてもその日はウハチと称して多くの村落で大綱引が行われた。(現在は前後の日曜日)その中でも特筆すべきは我謝の綱引である。綱引研究の第一人者である故平敷令治氏も我謝の綱は美しくすばらしいと絶賛されていたのを思い出す。

つぶやき